



取り組みについて話す
隆光さん（息子さん）

環境への取り組み



町では、平成18年12月より上村篤美さん（浦富）のご協力を得て『焼却古紙の資源化』に取り組んでいます。これは、役場庁舎や岩美病院でシュレッダー機により細かく裁断された古紙を子牛の敷きわらとして使用して頂くというものです。『最近、テレビでも環境問題が大きく取り上げられよく目にする。そんな中、うちの出来る事、出来る範囲でしか協力できないが、少しでも役に立てるならという思いから協力させてもらいました。』（息子さん談）

町では、今後も環境問題施策として各分野で様々な取り組みを行っていきます。町民の皆さんのご協力・ご理解をお願いします。



焼却古紙

見慣れない敷きわらに最初は戸惑いを見せながらも、快適な様子(!?)

「高齢化だからであきらめない」

自主防災への取り組み



【お問い合わせ】総務課 ☎ 73-1411

災害発生時には速やかな対応が行える体制を整えています。充分とはいえませんが、地域の自主的な取り組みと共同で「被害0」を目指していきます。



資材などを出し合って立てた備品倉庫



左（澤田哲郎町内会長）
右（澤田一美老人会長）

中身の必要な物を町内会で考えたオリジナル

「きっかけは阪神淡路大震災でした。平日の昼間、ほとんどの家には年寄り子どももいない。もしもの時にはどうなるのか。役場などの助けを待っているだけでよいのか。この思いから西町一町内会では、町内会の全世帯に『非常持出袋』を常備することを決めました。」と、澤田哲郎町内会長と澤田一美老人会長。従来は、親睦旅行などに充てられていた町内会費で「命にはかえられない」と非常袋を購入。この取り組みを聞きつけて、これまでに数件の問い合わせが他の町内会や集落からあったとのこと。町としても、災害発生時には速やかな対応が行える体制を整えています。充分とはいえませんが、地域の自主的な取り組みと共同で「被害0」を目指していきます。